

野村絵梨 個展 垢も身のうち

2023年10月20日(金) — 11月25日(土)

オープニングレセプション：10月20日(金) 16:00~19:00 場所: WADA GAROU TOKYO Lab.



このたび和田画廊ならびに AMMON TOKYO は、10月20日(金)より野村絵梨による個展「垢も身のうち」を開催いたします。展示される作品は、生活環境の変化を経て身の回りを見つめ直した作家自身のユニークな視点で展開されます。

野村絵梨の作品は、スタイロフォーム（主に断熱材として知られる）と呼ばれる水の重さの約1/30という軽量素材を用いて生み出されます。専らその佇まいはミニチュアを彷彿とさせ、こどものころに人形遊びをしたときのおもちゃのような愛らしさを持ち合わせていますが、概ね原寸大で作られる作品は物質の重量感・存在感は削ぎ落とされ、簡略化されている印象も与えます。そのなかに日常の暮らしの痕跡「垢」を垣間見る瞬間があるでしょう。同じ空間に立った時、「垢」の痕跡を残す作品群はわれわれにどんな言葉を投げかけてくるのでしょうか。

本個展では WADA GAROU TOKYO Lab.の2階を制作レジデンスとして提供し、作家が滞在期間に制作した作品を中心に同レジデンスの3階と神保町 AMMON TOKYO の2会場で展示をいたします。皆様のご来廊を心よりお待ちしております。

ARTIST STATEMENT

展示している作品は、作家の生活空間にあるものを元に制作している。

人形遊びのおもちゃのような形をした生活用品や家具は、出品を重ねるごとに少しずつ追加されていき、作家の身の状況を加筆更新している。制作を始めた時期は、ほとんどの時間を家の中で過ごすようになった時だった。疫病の蔓延、仕事が在宅メインになったことと、出不精な性格が重なった。

はじめに、床に落ちていたコロコロを作った。猫の毛やほこりがついている。

いつもはできるだけ汚れに触らないようにしながら、剥がして捨ててしまうコロコロを、はじめてじっくりと観察した。

そこからどんどん作った。日に日に量が増え、部屋を埋め尽くしていった。

新しいものもくたびれたものも、いつか捨てられるものも、ごちゃまぜになって生活空間を再現している。

PROFILE

野村絵梨 | Eri Nomura

東京都生まれ。2019年 東京藝術大学美術研究科彫刻専攻 修了。大学時代に石彫で学んだカービングと、卒業後に始めた3Dモデリングの要素を組み合わせ、身の回りのありふれたものを、CGと現実の間から記録している。現在は、子供に美術を身近に感じてもらうために、制作活動と並行して、粘土ワークショップを企画・開催している。主な展覧会に、2021年「SILHOUETTE, SCHATTEN」(エースホテル京都、京都)、2022年「複号の彫刻家たち展」(ファーレ立川街区、東京)がある。

INFORMATION

※それぞれ営業時間・休廊日が異なりますので、ご注意ください

野村絵梨 『垢も身のうち』

会期：2023年10月20日(金) - 11月25日(土)

オープニングレセプション：10月20日(金)16:00-19:00 会場：WADA GAROU TOKYO Lab.

◆第1会場：WADA GAROU TOKYO Lab.

営業時間：火～日 13:00 - 18:30 (休廊日：月・祝)

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-5-16 マツザワ第8ビル 2F/3F

Tel/Fax：03-6263-2404 / Email：info@wadagarou.com / www.wadagarou.com



◆第2会場：AMMON TOKYO

営業時間：月～日 10:00 - 18:30 (休廊日：祝)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-11-4

メゾン・ド・ヴィレ神田神保町 1F (神保町さくら通り)

Tel/Fax：03-6261-0018 / Email：info@ammon.co.jp / www.ammon.co.jp

